

コロナ禍におけるボランティア活動

⑪手話サークル ビーナッツ

一言メッセージは、絵で描きました。聞こえない人は、目からの情報が大切。コロナでマスクをしていると表情が伝わらないため、早くマスクを外して会話がしたいとの思いを絵に込めました。月4回の活動のうち3回は手話の学習会を実施し、4週目にゲームなどを実施し楽しく交流しています。活動時は大変なことも多いですが、ゲームなどを通じた交流を望む方が多く、ボランティアも毎回楽しんでます。



⑫東大和市レクリエーション研究会

一言メッセージは、「街に咲かそうレクの花。心の元気づくり」としました。活動内容は、遊びとレクリエーションを通して市民生活の潤いと活性化を目指し活動をしています。コロナ禍でも工夫しながら活動は継続して行いました。レクダンスを行ったり、自治会と共同して活動もしています。

⑬東大和・にほんご友の会

一言メッセージは、「狭い国際交流」としました。東大和では私たちのグループを含め3団体が外国人へ日本語支援をしています。私の会は29年間学習支援を日々行ってきました。マンツーマン指導を基本とし、個々のレベルにあった教材を使用し学習しています。コロナの影響がありなかなか活動ができませんでしたが、今年の4月から活動を再開しています。今後は、ボランティアの募集と学習者の増加に力を入れていきたいです。



⑭ぼけっと文庫

一言メッセージは、「親子の笑顔に寄り添いたい」としました。私たちのグループで親子のつながり・子どもとボランティアのつながり・親とボランティアのつながりなど多くのつながりの場を提供したいと思いこのメッセージとしました。



⑮昭和の友

主に、歌や踊りで高齢者施設へ訪問し高齢者に元気を届けています。一言メッセージは、「自分も元気、みんなも元気！毎日優しく、楽しく！」としました。このグループ名にした理由は、ボランティアも昭和生まれ、聞く人も昭和ということ。活動拠点が施設だったこともあり、コロナの影響は受けました。毎回楽しみに待っていてくれる方もいるため、施設での活動が早くできるように願っています。

●東大和市ボランティア会

自分たちの会は、様々なボランティア活動を多く行っています。また勉強会も実施し学びを深めています。活動の例としては、小学校での車いす指導のお手伝いや、子どもたちへのボランティア学習支援があります。秋には、「がんばれ自分！みんなの作品展」を開催しています。今年で32回目を迎えます。多くの市民の方に参加してほしいです。皆さんとも共同で何かできると良いと思っています。

※一言メッセージの掲載はありません。

ボランティアグループ代表者連絡会を開催しました



連絡会の様子

ることができました。

14団体の参加により、ボランティアセンターの事業計画の説明の後「コロナ禍におけるボランティア活動について」をテーマに、事前に記入した「一言メッセージを紹介しつつ、グループ同士の情報交換会を行いました。各団体から、「コロナウイルスの影響を受けながら活動してきた」という声や、「施設での活動は一切行えなかった」、「活動の実施方法を工夫しながら行った」など様々な意見が出ました。各団体の報告を聞いた後、「施設内での活動と屋外の



連絡会の様子

6月3日（金）午後1時30分から、社会福祉協議会の第二会議室で開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため連絡会を中止としましたが、今年は、感染対策を徹底し開催する

活動、それぞれに困難はあると思う」や「これからは新たな仕掛けを考えながら活動を行っていききたい」、「活動方法を、工夫することで行えることが多くなると思う」という感想が出ました。



■運営委員の田村さん（東大和傾聴・聞き書き隊代表）に「ボランティアグループ代表者連絡会」に参加しての感想をお伺いしました。

いろいろなグループの活動の近況に触れることで、「参考になったこと」「刺激を受けたこと」が多々あった連絡会議でした。長引くコロナ禍、施設などでのボランティア活動が制限される中、人とのふれあいや交流も制限された中、それぞれ工夫しながら今出来ることに取り組んでおり、各グループの地道な活動が途切れないように、継続していく為の皆さんの熱い想いを感じました。

田村美和子

